

令和3年度 瑞浪市夢づくり地域交付金事業（ステップアップ事業）の概要

（明世地区）

事業名	事業の概要	活動内容	成果目標	事業費	交付金の額
<p>若手のまちづくり担い手による大湫町総合振興計画の策定事業</p>	<p>大湫町は、慶長9年(1604年)徳川幕府の中山道の宿駅制度で政策的に整備された宿場町として発展し、明治20年の「諸街道駅伝制廃止令」によりその役割を終えるまで、地域文化の中核的な立場にありましたが、鉄道及び自動車は物流の中心になるにつれ、経済活動も停滞し、戦後のベビーブームと疎開者によって一時的に人口の増加をみたものの、近年の少子高齢化の波のなか、居住人口は減傾向にある。</p> <p>こうした中、地域の魅力を高め、地域社会としての永続性を保つためには、地域の担い手を確保するとともに後継者を育成し、力を合わせて地域づくりに取り組んでいかなければならない。そのためには、空き家対策転入対策などによる定住促進活動の組織的な推進と、地域の人々の合意に基づく明確な指針を持って、計画的に事業を実践していくことが求められる。よって、景観政策を取りまとめる節目の年に、生産基盤・生活基盤、福祉環境・子育て環境等も含めた、総合的な町の振興計画を取りまとめていく。</p> <p>また、次世代を担う若者が中心となり総合計画を策定し、策定プロセスを多くの人と共有することで、住民の地域参画や地域自治意識の醸成を目指していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の行政計画等関連資料、現行計画(大湫町)の収集と把握(図面含む) ・計画策定指導機関との意見交換会及び資料の精査 ・策定ワーキングチームの人材選定 ・「町民ミライ会議(地域の課題及び構想の抽出ワークショップ)」の実施【年2回実施予定】 ・各地区(神田・足又・北・西)住民総会での説明・ヒアリング ・ワーキングチームによる総合振興計画原案の作成【計5回のワーキングチームディスカッション実施予定】 ・町内事業所ヒアリング調査 ・各地区住民総会で経過共有・説明 ・総合振興計画の策定 ・総合振興計画書の作成／印刷製本 ・配布PR ・「第2回町民ミライ会議」の開催 	<p>①地元の担い手青年チームづくり</p> <p>・地元の若者、移住者ら6～10名程度のチームをつくり、総合計画策定に向けて全8回の若手会議を行う。</p> <p>②総合計画の策定(30P(資料編含む)を想定)</p> <p>・ヒアリングされた意見を元に地元の若者、移住者らチームによって編集された、大湫町の今後の向かっていく目標とその段取りが明示されている計画書(大湫町総合計画振興計画書)づくり</p>	<p>3,471,160</p>	<p>3,000,000</p>
合 計			3,471,160	3,000,000	